

木部抽出のひのき精油

= 香りと性質を調べる =

エンジニア科2年 瀬瀬俊一

背景 = なぜ木部抽出ひのき精油なのか？ =

抽出部位によって香りも違う

実家の製材工場で木材の乾燥過程を通して

精油が取れることが分かった

一般的な葉からの抽出と違い精油を副産物としてとることができ
手間はかかるが効率的な生産をすることができる

葉からの抽出

フルーティーで爽やかな香り
アロマオイルで使われる

木部からの抽出

木そのもの
木造新築物件に入った時のよう
人によってはくどい？



左 乾燥器
と
右 精油の蒸留器



あまり市場には出回っていない

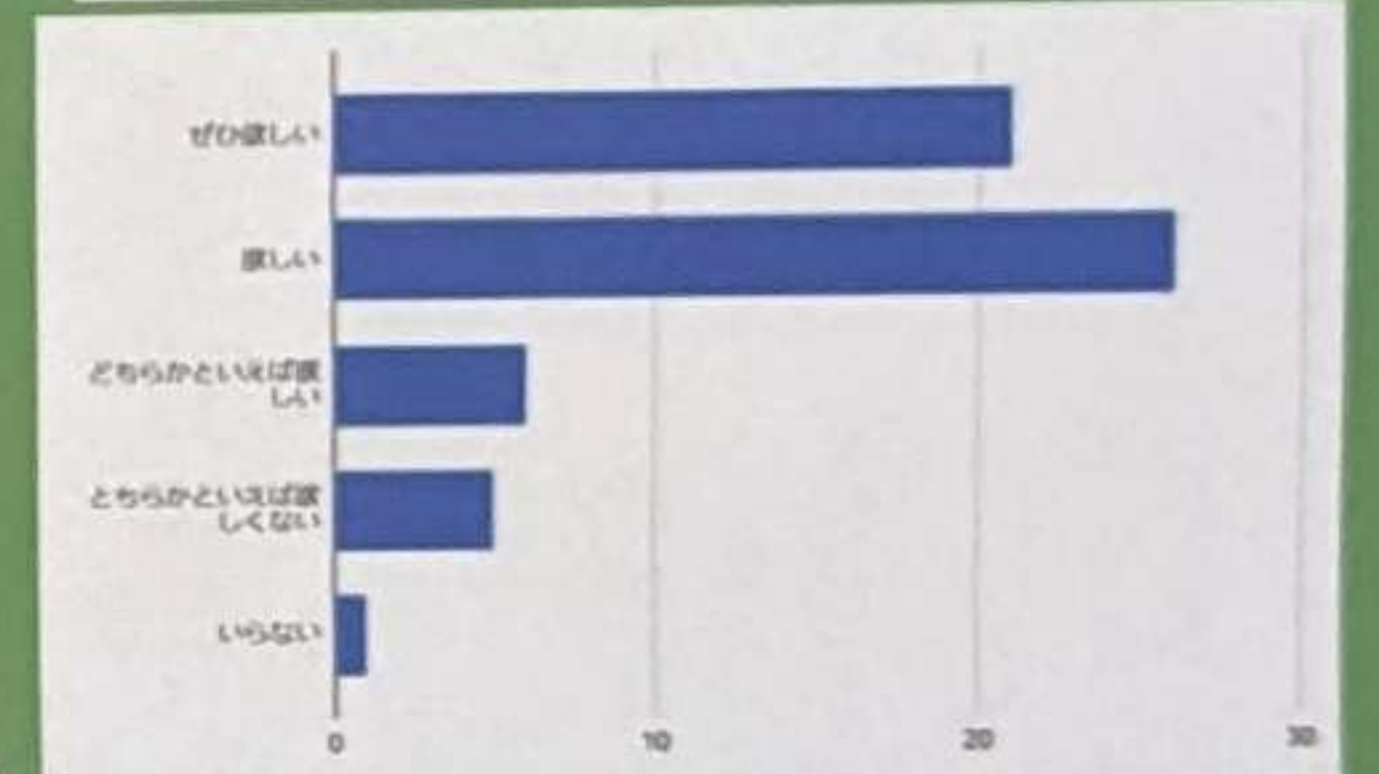
実験 I

学校のトイレに精油を設置してみて
使用者の反応を見る



アンケート結果

自分の家に置きたい(欲しい)か？



自宅に置くとしたらどこに置きますか？

玄関、靴入れ、ゴミ箱 **消臭派**
寝室、リビング、車 **リラックス派**

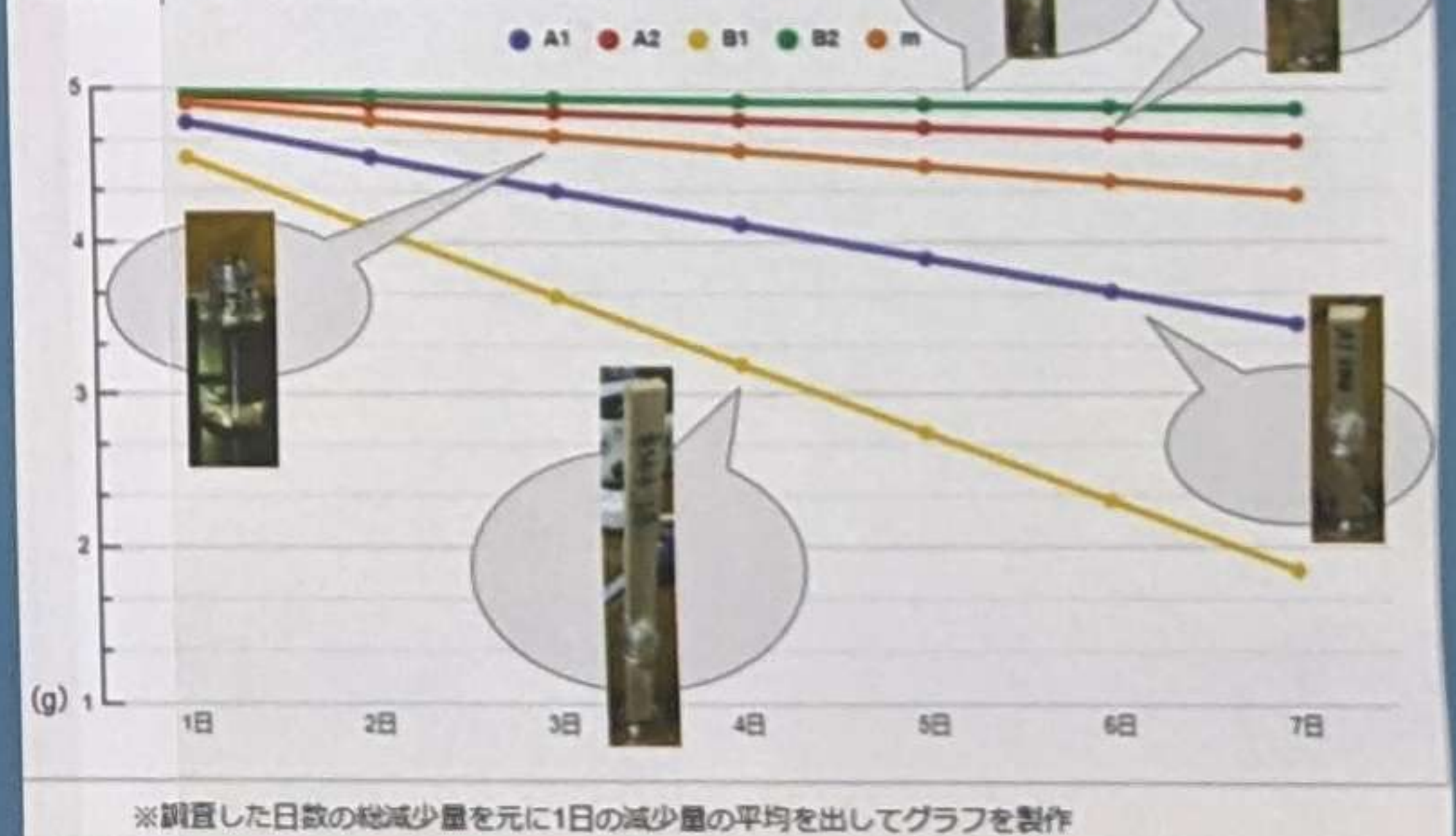
実験 II

実際に揮発量を調べる
7日間かけて揮発していった量を計測



結果

揮発による内容量の変化



まとめ

- 木部抽出のものは木の香りが強く葉からの抽出ものとは香りが異なるが好評だった
- 消臭効果を期待することができる
- 消臭派とリラックス派で使用したい目的に差があった
- 大気に触れる面積が広くなれば揮発する量は増える
- 入口をふさぐと揮発しにくくなる
- 室温28°24時間で50cm²から0.4 g程度揮発する(揮発量をコントロールすることが可能になった)
- 今回の実験のペースでは10日ほどで香りはしなくなっていく